

恵方巻をいただきました！

みやこ学園 宮城美奈子

マックスバリュ南店様より2月3日の節分にちなみ恵方巻き・豆菓子・お茶の寄贈を頂きました。多種の海苔巻き的美味しさに皆、喜び、今年の恵方を意識しながらほおばりました。今年も一年良い年になること間違いなし！！ご厚意に感謝いたします。



みやこ学園



野菜ランドみやこ



奥原淳子さん (63歳) 生活介護事業所みやこ 3B 体操や動作法、週に一回のウォーキングもとても気に入っており、時々走って見せるほどの元気な淳子さん。今年は焦らずゆったり楽しんで過ごしましょう。63歳おめでとうございます。生活支援員 濱川尚美



友利彰男さん (38歳) みやこ学園 出向班 毎日の自転車通勤ご苦労さんです。少々の雨の中でも通っている彰男さんです。作業に対しては、体力もあり、公園の清掃、除草作業、プランターの管理などいろいろなことに取り組んでいます。班の皆さんとも協力しながら、笑顔でやさしく接しているの、皆さんからも頼りにされている彰男さんです。これからもいろいろなことを身につけ、楽しく過ごしていきましょう。職業指導員 武富眞悟



砂川みゆきさん (31歳) みやこ学園 園芸班 作業に集中する時のみゆきさんは凄いですよ～継続出勤を目標と一緒に頑張るよ！お誕生日おめでとう♪ 生活支援員 前泊淳子



下地徳子さん (57歳) みやこ学園 園芸班 苦手な作業はありますが、いつも笑顔で頑張る徳子さんです。カラオケクラブでも十八番の「大阪ラブソディ」を艶っぽく披露してくれています。これからも健康で頑張りましょうね。生活支援員 前泊淳子



池村菊枝さん (68歳) アダナス いつも明るく元気な菊枝さん、誕生日おめでとうございます。バリバリに作業を進めてくれるし、周りの利用者をも手助けしてくれてとても助かっています。新聞紙で作る紙袋も菊枝さんが沢山作ってくれるので多くのお客さんにパンを入れて渡すことが出来ています。でも無理して手を痛めないで下さいね！体調には気をつけてこれからも一緒に頑張りましょう！ 職業指導員 石嶺宏武

3月 行事予定

- 6日(水) 生活介護レク活動(動作法)
- 8日(金) 工賃支給日
- 13日(水) 生活介護レク活動(3B体操)
- 21日(木) 春分の日
- 22日(金) 生活介護レク活動(3B体操)
- 27日(水) 施設内健康診断



学園だより

メールアドレス

miya-gaku@cronos.ocn.ne.jp

平成 31 年

第 210 号

3 月 発行

みやこ学園

社会福祉法人 みやこ福祉会

社会福祉法人研修会

～これからの社会福祉法人に求められるもの～

相談支援事業所みやこ 下地静香

平成 31 年 2 月 15 日金曜日、みやこ学園にて『平成 30 年度みやこ福祉会法人研修会』を行いました。講師に社会福祉法人菊愛会の最上太一郎理事長と同法人で就労継続支援 A 型事業所及び短期入所事業所を管理されている若山裕明支配人をお招きし、『社会福祉法人の在り方』をテーマにご講話頂きました。社会福祉法人菊愛会さんは 30 事業所 47 サービスを展開し、児童福祉サービスから障害福祉サービス、介護保険サービスとライフステージに応じた幅広い世代への支援を提供されております。

今回は、(I)菊愛会さんの事業内容の説明、(II)菊愛会での取り組み(①熊本震災における菊愛会の取り組み②菊愛会での高齢障害者への取り組み③自立支援協議会への関わり)、(III)社会福祉法人及び法人職員に求められることの3つの内容でのご講話で、スライドで事業所の写真を映しながら話を進めて頂き、大変わかりやすく事業所一つ一つの特色も伺うことが出来ました。また、熊本震災直後の写真も拝見しながら、被災現場での障害児者への配慮や受け入れ、菊愛会さんが地域に対して取り組んできた事を伝えて頂き、現場の悲惨さと共に、そこに社会福祉法人として取り組むべき、地域に還元するべきものを学ぶことができました。また、相談業務について菊愛会さんでは相談支援事業所と障害者就業・生活支援センター(通称なかぼつ)と生活困窮者自立支援事業が同じフロアにおり総合的に相談が受けられるほか、障害のある方が65歳に到達した時の介護保険サービスへの移行に関して同法人の居宅介護支援事業所と連携することでスムーズに移行できる体制を整え、また障害分野の生活介護事業所と高齢分野のデイサービスが同じフロアで行うことで(共生型ではない)、ガラリと環境が変わる事もなく安心したサービス利用ができるようにしており法人独自で地域課題を解決していく仕組みづくりと体制整備を行って頂きました。質疑では参加して頂いた行政機関や他事業所さんからも熱い想いの詰まった質問をして頂き、より法人研修会での学びを深める事ができ、職員一同も多くの学びに繋がったと思います。現在の障がい者福祉の『社会福祉法人』を取り巻く環境は激変し、今後の法改正等でも大きく変わっていきます。みやこ福祉会が『社会福祉法人』として地域と共に歩んでいく上で、みやこ福祉会の存在意義や職員としての心構え、必要なスキルを一人ひとりが考え、また、組織で協議し、より地域に密着した活動展開ができるよう、今回の法人研修会で学んだことを活かしていきたいと思っております。貴重なお時間を使ってご講話頂いた、社会福祉法人菊愛会の最上理事長、若山支配人、多くの学びと楽しい交流をありがとうございました。



研修の様子



伊志嶺理事長挨拶



菊愛会 最上太一郎理事長

砂川中学校「ふれあい給食」に招待していただきました

野菜ランドみやこ 所長 恩河清人

1月30日(水)砂川中学校で「ふれあい給食」に参加してきました。野菜ランドからは5名が参加し、先生方や関係者と給食を食べながら生徒たちと交流を行いました。この催しは、全国学校給食週間(1月24日~30日)中に、学校給食の意義や役割について理解を深めてもらうことを目的に実施しています。今年は、生産者代表として野菜ランドのメンバーが招待され実施することとなりました。この日の献立は地元産の食材を使った炊き込みご飯や野菜ランドで収穫された、ほうれん草の和え物などで、食事の間には野菜ランドの説明や従業員の紹介を行い、和やかな雰囲気の中でふれあい給食を頂きました。従業員のメンバーは、生徒たちと給食を取りながら、普段の学校生活などについて話し、楽しく過ごしました。



宮古地区知的障がい者スポーツ大会を終えて

みやこ学園 職業指導員 知念功樹

去った2月6日(水)宮古地区知的障がい者スポーツ大会がJTAドーム宮古島にて開催されました。宮古地区手をつなぐ育成会の主催で行われ、参加した施設は4施設(地域活動支援センターあだん・あけぼの学園・ふれあいの里・みやこ福祉会)、計10チームがAコート・Bコートに別れキックベースボール競技が行われました。開会式では下地敏彦市長様より激励の挨拶が行われ、いよいよ競技がはじまりました。すると利用者さんが必死にボールを追いかける姿や高く上がったフライをうまくキャッチして喜んでいる様子などが見られました。競技中に利用者さんの生き生きとした笑顔が各コートで見られたのがとても印象的でした。終了後は表彰式が行われお菓子の詰め合わせや飲み物など各チーム毎に用意されており、受け取った利用者さんはとても喜んでいました。ケガもなく無事に終わることが出来て良かったです。また企画して頂いた育成会の皆様、本当に楽しい時間をありがとうございました。



障害者就業・生活支援センター事業をより深く考えるための全国フォーラム

障害者就業・生活支援センターみやこ 所長 神里裕丈

2月1日、2日の両日にNPO法人全国就業支援ネットワーク主催「第6回障害者就業・生活支援センター事業(以下「同事業」)をより深く考えるための全国フォーラム」に出席させていただきました。主な内容としては、厚労省「障害者雇用対策課」「障害福祉課」からの同事業の成り立ちと予算措置及び事業成果、今後の展望についての説明、全国各ブロック会議の内容報告でした。一般企業での障害者雇用における同事業の成果は全国的に良い方向として大きく出ている。今後も各地域においての同事業の維持、発展に期待しているとの説明でした。今回のフォーラムから当センターとしても「小地域での同事業の在り方」をさらに深めながら、宮古圏域に必要な「障害者就労支援の在り方」を地域の皆様と作っていき、地域に必要とされ続ける「障害者就業・生活支援センターみやこ」作りの自身の再確認ができました。

フォーラム参加後に「埼玉復興(株)」を休日にもかかわらず新井代表のご対応で視察させていただきました。新井代表は「農福連携」で全国を飛び回り講演活動も積極的にされておりますが、現在は「農福連携」のみならず、芸術活動や地域活性化など多方面に取り組まれております。その理由は「障害があろうが無かろうが、支援を必要とされている方々の輝ける力、輝ける時間、輝ける人生を送ってもらいたいです。そのために必要なこと、実践できる事探しをしているんです。」とお話されました。様々なお話がありましたが「人として働くこと=自分の役割を持つこと」「私たちのすべきことは役割を持ってもらうサポートをさせていただく事」とお話しされていたことに、あらためて自分の役割とは何か、自分がすべきことは何かを考えさせられました。

2日間の流れで「みやこ福祉会の一員として、宮古の一住民として何が出来るか?」を投げかけられ、今後ともそれを追求しながら励んでいきます。



埼玉復興オーリーブ畑(一部)



芸術活動



居住支援部会の皆さんがグループホームの見学に

相談支援事業所みやこ 下地静香

相談支援事業所みやこは、宮古島市地域自立支援協議会の「居住支援部会」の部会長をあけぼの学園さんと一緒に務めさせて頂いております。2月14日の木曜日に、その「居住支援部会」の取り組みとして、部会員がみやこ福祉会のグループホーム「みやこ」を見学致しました。庶務課長の與那城より、グループホーム「みやこ」「とも」で暮らす利用者様の年齢層や障害種別、建物の広さなどを説明。見学した部会員からは、「広くて開放的!」「温かみのある雰囲気です手厚いサポートが魅力」と高評価を頂いております。サービス管理責任者の高江洲からも、グループホームの1日の流れや日々の出来事、支援に力を入れている事などを話し、「毎日何かが起こります。でも皆さんが安心して暮らせるように精一杯支援させて頂いてます。」と温かな母親のような表情に同法人ながら感動!!同じ日に(株)ピザライさんのグループホームイースⅡを見学。こちらはモダンな建物でオシャレ。また対象者が精神障害の方が多いとの事で訪問看護との医療連携が欠かせないとの事。どちらのグループホームも特色が同え、良い見学会となりました。宮古島市地域自立支援協議会の居住支援部会では、これからも障害のある方が地域での生活、住まいに関して安心できる環境整備へ繋がるよう、これからも各関係機関と協議していけたらと思います。居住支援部会にご協力頂いた皆様、誠に有難うございました。

